

近畿厚生局長 殿

学校法人兵庫医科大学
理事長 新家 莊

兵庫医科大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3の規定に基づき、平成21年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	117.8人
--------	--------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法 → 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績 → 別紙参照(様式第13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	536人	235人	573.6人	看護補助者	106人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	18人	13人	22.0人	理学療法士	22人	臨床検査技師	89人
薬剤師	58人	5人	58.0人	作業療法士	11人	衛生検査技師	1人
保健師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	8人	その他	1人
助産師	14人	2人	15.2人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧	0人
看護師	786人	19人	798.6人	臨床工学技士	11人	医療社会事業従事者	12人
准看護師	4人	0人	4.0人	栄養士	0人	その他の技術員	9人
歯科衛生士	5人	0人	5.0人	歯科技工士	3人	事務職員	101人
管理栄養士	6人	2人	7.6人	診療放射線技師	44人	その他の職員	41人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	731.0人	7.5人	738.5人
1日当たり平均外来患者数	2,331.3人	94.9人	2,426.2人
1日当たり平均調剤数	1,002.80剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者数延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。



(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
インプラント義歯	7人
腹腔鏡下肝部分切除術(肝外側区域切除術を含み、肝腫瘍に係るものに限る。)	3人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
腋窩リンパ節郭清術の実施前におけるセンチネルリンパ節の同定及び生検(触診及び画像診断の結果、腋窩リンパ節への転移が認められない乳がんに係るものであって、「放射線同位元素及び色素」又は「色素」を用いて行うものに限る。)	62人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示
第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	65人	・膿疱性乾癬	6人
・多発性硬化症	57人	・広範脊柱管狭窄症	45人
・重症筋無力症	58人	・原発性胆汁性肝硬変	31人
・全身性エリテマトーデス	293人	・重症急性膵炎	2人
・スモン	2人	・特発性大腿骨頭壊死症	14人
・再生不良性貧血	50人	・混合性結合組織病	37人
・サルコイドーシス	26人	・原発性免疫不全症候群	3人
・筋萎縮性側索硬化症	10人	・特発性間質性肺炎	1人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	181人	・網膜色素変性症	23人
・特発性血小板減少性紫斑病	67人	・プリオン病	0人
・結節性動脈周囲炎	32人	・肺動脈性肺高血圧症	0人
・潰瘍性大腸炎	835人	・神経線維腫症	5人
・大動脈炎症候群	12人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	8人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	2人
・天疱瘡	11人	・慢性血栓性肺高血圧症	1人
・脊髄小脳変性症	33人	・ライソゾーム病	0人
・クローン病	663人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	22人	・脊髄性筋萎縮症	0人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	193人	・球脊髄性筋萎縮症	0人
・アミロイドーシス	7人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	5人
・後縦靭帯骨化症	60人	・肥大型心筋症	1人
・ハンチントン病	0人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	10人	・ミトコンドリア病	0人
・ウェゲナー肉芽腫症	11人	・リンパ管筋腫症(LAM)	1人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	64人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	18人	・黄色靭帯骨化症	0人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	5人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	21人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.

注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	原則毎週水曜日に開催している 1カ月間の平均回数は3回
部 検 の 状 況	部検査例数 54 例 / 部検率 8.70%

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
同種造血幹細胞移植成績の一元化登録と国際間の共有およびドナーとレシピエントのQOLを視野に入れた成績の向上に関する研究	小川 啓恭	内科 血液内科	500,000	補 委 厚生労働省
新しい造血幹細胞移植技術の開発に関する研究	小川 啓恭	内科 血液内科	1,000,000	補 委 厚生労働省
治療関連合併症を減少させて同種造血幹細胞移植後の生存率の向上を目指す標準的治療法の開発研究	池亀 和博	内科 血液内科	1,000,000	補 委 厚生労働省
ヒト白血球抗原半合致造血幹細胞移植療法の安全性確立に向けての研究	小川 啓恭	内科 血液内科	1,500,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
血小板低値例へのインターフェロン治療法の確立を目指した基礎および臨床的研究	西口 修平	内科 肝・胆・膵科	24,000,000	補 委 厚生労働省
B型肝炎の核酸アナログ薬治療における治療中止基準の作成と治療中止を目指したインターフェロン治療の有効性に関する研究	齋藤 正紀 (研究代表者 信州大学 田中 榮司)	内科 肝・胆・膵科	2,000,000	補 委 厚生労働省
肝がんの新規治療法に関する研究	西口 修平 (研究代表者 金沢大学 本多 政夫)	内科 肝・胆・膵科	2,000,000	補 委 厚生労働省
肝発癌を抑制を視野に入れた肝硬変の栄養療法のガイドライン作成を目指した総合的研究	西口 修平 (研究代表者 岩手大学 鈴木 一幸)	内科 肝・胆・膵科	1,000,000	補 委 厚生労働省
肝炎ウイルスにより惹起される炎症性誘発要因及びウイルス増殖に対する人為的制御による肝炎征圧	西口 修平 (研究代表者 千葉工業 大学附属総合研究所 下遠野 那恵)	内科 肝・胆・膵科	6,500,000	補 委 厚生労働省
肝癌由来増殖因子の発現制御およびシグナル伝達調節による肝癌増殖制御法の開発	榎本 平之	内科 肝・胆・膵科	2,080,000	補 委 文部科学省 科学技術振興機構
炎症性腸疾患の発癌サーベイランスにおける腸管免疫異常と慢性炎症の意義	松本 譽之	内科 下部消化管科	1,300,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
難治性炎症性腸管障害に関する調査研究	松本 譽之 (東京医科歯科大学 渡辺 守)	内科 下部消化管科	1,500,000	補 委 厚生労働省
アスベスト関連疾患への総括的取り組み	中野 孝司	内科 呼吸器・RC U科	86,773,000	補 委 文部科学省 科学技術振興機構
アスベスト曝露と胸部悪性腫瘍を含む、がん発症リスクとの関連性についての前向き調査研究	福岡 和也	内科 呼吸器・RC U科	1,000,000	補 委 (財)千代田健康 開発事業団
悪性中皮腫発生抑制にかかわる遺伝子多型の検索	中野 孝司 福岡 和也 (研究代表者 兵庫医科大学 玉置 知子)	内科 呼吸器・RC U科	160,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
肺線維症の予防および治療方法の新規開発	田端 千春	内科 呼吸器・RC U科	1,560,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金

小計
16

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
局所療法適応外の肝細胞がんに対する頸動脈的治療法標準化(手技を含む)の研究	廣田 省三	放射線科	1,000,000	補委 厚生労働省
新生児の脳発達に伴う脳回及び容積の測定と虚血性脳疾患での評価	石蔵 礼一	放射線科	2,700,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
放射線直腸粘膜障害に対する予防と治療-直腸挿入亜鉛製剤の設計と評価-	上紺屋 憲彦	放射線科	2,400,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
トランスグルタミナーゼの新規酵素活性に基づく角化の分子病態解析	山西 清文	皮膚科	1,820,000	補委 厚生労働省
炎症性皮膚疾患における新規血液RNA診断システムの開発	津田 達也	皮膚科	2,080,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
プロテアーゼ活性化受容体を介する表皮制御システムの分子病理学的解析	中川 登	皮膚科	1,100,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
稀少難治性皮膚疾患に関する調査研究	山西 清文	皮膚科	1,550,000	補委 厚生労働省
稀少難治性皮膚疾患克服のための生体試料の収集に関する研究	山西 清文	皮膚科	500,000	補委 厚生労働省
消化管癒着・線維形成過程の分子機構解析・制御法開発と腸管呈細胞探索と試み	藤元 治朗	外科 肝・胆・膵外科	5,330,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
胆管細胞癌に対する新生血管・リンパ管および腫瘍内間質を標的とした分子治療研究	平野 公通	外科 肝・胆・膵外科	1,430,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
転写因子NF-κB抑制による大腸癌放射線感受性増強効果と非癌部腸管保護作用の検討	王 孔志	外科 肝・胆・膵外科	1,950,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
肝内腸管癌組織に発現する細胞外マトリックスの機能解析とその臨床応用	宇山 直樹	外科 肝・胆・膵外科	1,820,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
進行胃がんの生存率を向上させる標準的治療法の開発に関する研究	笹子 三津留	外科 上部消化管外科	21,000,000	補委 厚生労働省
消化器悪性腫瘍に対する標準的治療確立のための多施設共同研究	笹子 三津留 (研究代表者 鳥田 安博)	外科 上部消化管外科	4,000,000	補委 厚生労働省
散在性大腸癌発生における塩基除去修復遺伝子MYH関与の解明と臨床応用への展開	久野 隆史	外科 下部消化管外科	2,000,000	補委 文部科学省 科学技術振興機構
膝関節3次元動作解析システムの確立と前十字靭帯損傷膝に対する応用	吉矢 晋一	整形外科	130,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金
膝神経節におけるTRP受容体ファミリーの機能解析	桂 弘和	耳鼻咽喉科	1,950,000	補委 日本学術振興会 科学研究費補助金

小計
17

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
頭頸部扁平上皮癌根治治療後のTS-1補助化学療法の検討	寺田 友紀	耳鼻咽喉科	724,500	補 委 先端医療振興財団
肺癌における循環血液中腫瘍細胞と血管内皮細胞の臨床的・探索的検討	田中 文啓	呼吸器外科	7,670,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
肺癌手術中の循環血液中への腫瘍細胞遊離放出と術後遠隔転移再発の解析	奥村 好那	呼吸器外科	1,560,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
魚油の静脈投与による侵襲下好中球アポトーシス抑制の解除と組織障害軽減の研究	小谷 穰治	救命救急センター	1,500,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
GIST発生におけるKIT・PDGFRシグナル異常の解析	廣田 誠一	病院病理部	9,400,000	補 委 文部科学省 科学技術振興機構
消化管間質腫瘍の分子標的薬に対する耐性機序の解明	廣田 誠一	病院病理部	1,170,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
KIT遺伝子改変動物を用いた消化管運動ペースメーカー細胞に発現する分子の解析	磯崎 耕次	病院病理部	1,170,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
複数臍帯血同時移植の臨床第Ⅱ相試験	甲斐 俊朗	輸血部	300,000	補 委 厚生労働省
難治性疾患克服研究	竹末 芳生	感染制御部	2,500,000	補 委 厚生労働省
IFN投与による精神神経症状発現のPETによる臨床的検討	柏木 徹	核医学・PETセンター	700,000	補 委 厚生労働省
超音波医学を駆使した慢性肝炎および非アルコール性脂肪肝炎の非侵襲的診断法の開発	飯島 尋子	超音波センター	9,880,000	補 委 文部科学省 科学技術振興機構
肝癌早期発見を目的とした分子マーカーおよび画像診断システムの開発	飯島 尋子 (研究代表 東京医科大学 有井 滋樹)	超音波センター	4,000,000	補 委 厚生労働省
悪性胸膜中皮腫の細胞・分子生物学的解析と癌幹細胞の同定	藤盛 好啓	がんセンター	1,560,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
麻酔薬相互作用の神経ネットワーク並行回路近似による解析	上農 喜朗	中央手術部	910,000	補 委 日本学術振興会 科学研究費補助金
ヘリコバクター・ピロリ感染による胃発癌の修飾因子に基づく予防策の検討	福田 能啓	臨床栄養部	11,750,000	補 委 厚生労働省 がん研究助成金

小計
15
計
48

(注)1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
J Card Fail	Noninvasive assessment of wall distensibility with the evaluation of diastolic movement. 15:68-77	増山 理	内科 循環器内科
Am Jphysiol Heart Circ Physiol	Adaptive response of the heart to long-term anemia induced by iron deficiency. 296:585-93	内藤 由朗	内科 循環器内科
J Hypertens	Cardiac steroidogenesis and glucocorticoid in the development of cardiac hypertrophy during the progression to heart failure. 27:1074-83	増山 理	内科 循環器内科
循環器科	Slender PCIのガイドワイヤー :eel SlenderとSlender01 65:36-40	舩谷 元丸	内科 冠疾患科
Catheter Cardiovasc Interv	IKATEN Registry Investigators. A new 0.010-inch guidewire and compatible balloon catheter system:the IKATEN registry. 73:605-10	舩谷 元丸	内科 冠疾患科
Am J Cardiol	Effect of culprit-lesion remodeling versus plaque rupture on three-year outcome in patients with acute coronary syndrome. 103:791-5	舩谷 元丸	内科 冠疾患科
Leukemia	Molecular detection of AML1-MTG8-positive cells in peripheral blood from a patient with isolated extramedullary relapse of t(8:21) acutemyeloid leukemia. 23:424-6	玉置 広哉	内科 血液内科
Urology	Relationship between cysteinyl-leukotriene-1 receptor and human transitional cell carcinoma in bladder. 73:916-21	佐野 統	内科 リウマチ・膠原病科
Mod Rheumatol	Impact of trough serum level on radiographic and clinical response to infliximab plus methotrexate in patients with rheumatoid arthritis. 19:487-87	佐野 統	内科 リウマチ・膠原病科
Mod Rheumatol	Imatinib mesylate inhibited rat adjuvant arthritis and PDGF-dependent growth of synovial fibroblast via interference with the Akt signaling pathway. 19:522-9	北野 将康	内科 リウマチ・膠原病科
Endocr J	Exenatide exhibits dose-dependent effects on glycemic control over 12 weeks in Japanese patients with suboptimally controlled type 2 diabetes. 56:451-24	難波 光義	内科 糖尿病科
Intern Med	Glucagonoma diagnosed by arterial stimulation and venous sampling (ASVS). 48:1025-30	宮川 潤一郎	内科 糖尿病科
Exp Anim	Role of macrophages in the development of pancreatic islet injury in spontaneously diabetic rats. 58:383-94	濱口 朋也	内科 糖尿病科

小計

13

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
J Gastroenterol	Involvement of hepatoma-derived growth factor in the growth inhibition of hepatocellular carcinoma cells by vitamin K(2). 44:228-35	山本 晃久	内科 肝・胆・膵科
Hepatol Res	Vitamin k2 downregulates the expression of fibroblast growth factor receptor 3 in human hepatocellular carcinoma cells. 39:1108-17	中村 秀次	内科 肝・胆・膵科
Hepatol Res	Hepatoma-derived growth factor is induced in liver regeneration. 39:988-97	榎本 平之	内科 肝・胆・膵科
World J Hepatol	Partial blockage of hepatocyte maturation in hepatoma-derived growth factor transgenic. 1:98-102	榎本 平之	内科 肝・胆・膵科
Climacteric	Factors contributing to increased serum urate in postmenopausal Japanese females. 12:146-52	山本 徹也	内科 内分泌・代謝科
Horm Metab Res	Effects of benzbromarone and allopurinol on adiponectin in vivo and in vitro. 41:327-32	井野口 卓	内科 内分泌・代謝科
Clin Chim Acta	Close relationship between serum concentrations of 1,5-anhydroglucitol and uric acid in non-diabetic male subjects implies common renal transport system. 410:70-3	森脇 優司	内科 内分泌・代謝科
Am J Gastroenterol	The impact of life-style modification on the health related quality of life of patients with reflux esophagitis receiving treatment with a proton pump inhibitor. 104:1106-11	三輪 洋人	内科 上部消化管科
J Gastroenterol	Comprison of the effects of omeprazole and famotidine in treatment of upper abdominal symptoms in patients with reflux esophagitis. 44:261-70	富田 寿彦	内科 上部消化管科
Histopathology	Differences in genetic instability and cellular phenotype among Barrett's, cardiac, and gastric intestinal metaplasia in a Japanese population with Helicobacter pylori. 55:261-9	渡 二郎	内科 上部消化管科
Dig Liver Dis	Treating ulcerative colitis by Adacolumn therapeutic leucocytapheresis:clinical efficacy and safety based on surveillance of 656 patients in 53 centres in Japan. 41:570-7	松本 譽之	内科 下部消化管科
Clin Exp Immunol	The expression profile of the functional regulatory T cells, CD4+CD25High+/FOXP3+, in patients with ulcerative colitis during active and quiescent disease. 156:320-7	上小鶴 孝二	内科 下部消化管科

小計

12

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Jpn J Clin Oncol	A feasibility study of induction pemetrexed plus cisplatin followed by extrpleural pneumonectomy and postoperative hemithoracic for malignant pleural mesothelioma. 39:186-8	中野 孝司	内科 呼吸器・RCU 科
Eur Respir J	All-trans-retinoic acid inhibits tumour growth of malignant pleural mesothelioma in mice. 34:1159-67	田端 千春	内科 呼吸器・RCU 科
肺癌	悪性胸膜中皮腫を対象としたLY231514 (ペメトレキセド) とシスプラチン併用療法の安全性情報収集のための臨床試験 49:988-93	福岡 和也	内科 呼吸器・RCU 科
末梢神経	自己免疫性ニューロパチーにおけるシクロスポリン経口療法の検討 19:487-90	津田 健吉	内科 神経・脳卒中科
Cell Calcium	Alternative splicing of RyR1 alters efficacy of skeletal EC coupling. 45:264-74	木村 卓	内科 神経・脳卒中科
Nephron Clin Pract	Different mechanisms for the progression of CKD with ACE gene polymorphisms. 111:G240-6	野々口 博史	内科 腎・透析科
Ren Fail	A case with acute renal failure and subsequent nephritic syndrome. 31:162-6	野々口 博史	内科 腎・透析科
Am J Nephrol	Interleukin-6 is a predictor of mortality in stable hemodialysis patients. 30:389-98	蓮池 由起子	内科 腎・透析科
Innervision	Image Analysis Software Next Advancess 次世代の画像解析ソフトウェアポータブルイメージ-DRR自動照合ソフトウェアの開発- 24:22-3	井上 裕之	放射線科
Innervision	次世代の画像解析ソフトウェア ポータブルイメージ-DRR 自動照合ソフトウェアの開発 24:106-7	井上 裕之	放射線科
日本放射線腫瘍学会誌	ラット放射線性直腸粘膜障害モデルを用いた亜鉛製剤の有効性の評価 21:149-54	土井 啓至	放射線科
神経内科	Alzheimer病の発症、進行とニコチン性アセチルコリン受容体β2遺伝子多型との関連 70:197-9	佐藤 典子	精神科神経科
J Alzheimers Dis	Dopamine D3 receptor gene polymorphism influences on behavioral and psychological symptoms of dementia(BPSD) in mild dementia of Alzheimer's type. 17:441-8	佐藤 典子	精神科神経科

小計

13

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Nat Immunol	Basophils contribute to TH2-IgE responses in vivo via interleukin 4 production and presentation of peptide-MHC class II complexes to CD4+T cells. 10:706-12	今井 康友	皮膚科
Skin Cancer	造影剤局注後のCT撮影によりセンチネルリンパ節同定を試みた足底の悪性黒色腫 24:67-70	武井 怜子	皮膚科
J Eur Acad Dermatol Venereol	Cutaneous malignant fibrous histiocytoma(undifferentiated pleomorphic sarcoma)arising in a chronic scalp ulcer of a patient with non-bullous congenital ichthyosiform erythroderma. 23:202-3	藤本 朋子	皮膚科
J Hepatol	Contribution of TIR domain-containing adapter inducing IFN- β -mediated IL-18 release to LPS-induced liver injury in mice. 51:333-41	今村 美智子	外科 肝・胆・膵外科
J Hepatobiliary Pancreat Surg	Minimally invasive laparoscopic liver resection:3D MDCT simulation for preoperative planning. 16:808-15	山中 潤一	外科 肝・胆・膵外科
周産期学シンポジウム	胎児発育不全における消化管機能障害-消化管穿孔ならびに胎便関連性腸閉塞に関する検討 27:43-6	奥山 宏臣	外科 小児外科
産婦人科治療	早産児に多い小児外科疾患とその対応 98:406-10	奥山 宏臣	外科 小児外科
小児外科	子宮内発育遅延症例における胎便関連性腸閉塞 41:500-3	奥山 宏臣	外科 小児外科
小児外科	十二指腸閉鎖症に対する十二指腸吻合術 41:936-41	奥山 宏臣	外科 小児外科
小児外科	膵腫瘍に対する脾温存膵尾部腫瘍切除術 41:981-6	田附 裕子	外科 小児外科
小児外科	低出生体重児における胎便関連性腸閉塞 41:1191-5	奥山 宏臣	外科 小児外科
Breast Cancer	Predict five factors for anthracycline-based chemotherapy for human breast cancer. 17巻2号2010年2月	三好 康雄	外科 乳腺・内分泌外科
J Cancer Res Clin Oncol	Association of loss of BRCA1 expression with centrosome aberration in human breast cancer. 135:421-30	三好 康雄	外科 乳腺・内分泌外科
Breast Cancer	Breast cancer risk assessment for possible tailored screening for Japanese women. 16:243-7	三好 康雄	外科 乳腺・内分泌外科
J Gastroenterol	Extracellular adenosine induces apoptosis in Caco-2 human colonic cancer cells by activating caspase-9/-3 via A(2a) adenosine receptors. 44:56-65	西藤 勝	外科 乳腺・内分泌外科

小計

15

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
癌の臨床	スキルス胃癌への新しいアプローチ:術前化学療法 の臨床試験 55:53-8	笹子 三津留	外科 上部消化管外科
外科	微小な腹膜転移を伴う4型・大型3型胃癌の予後と治療戦略 71:203-7	笹子 三津留	外科 上部消化管外科
外科	手術療法におけるランダム化比較試験の現況 71:293-6	笹子 三津留	外科 上部消化管外科
Gastric Cancer	Adjuvant chemotherapy with 5-FU or regimens including oral fluoropyrimidine for curable gastric cancer. 12(Suppl1):10-5	笹子 三津留	外科 上部消化管外科
癌と化学療法	食道癌に対するPET-CT診断の有用性. 癌と化学療法 36:2508-15	藤原 由規	外科 上部消化管外科
Gastric Cancer	Phase II trial of S-1 for neoadjuvant chemotherapy against scirrhus gastric cancer. 12:37-42	笹子 三津留	外科 上部消化管外科
Hepatogastroenterology	Intestinal cancer in Crohn's disease. 55:2121-4	池内 浩基	外科 下部消化管外科
World J Surg	Surgical site infection following surgery for inflammatory bowel disease in patients with clean-contaminated wounds. 33:1042-8	内野 基	外科 下部消化管外科
Fam Cancer	Determination of splice-site mutations in Lynch syndrome (hereditary non-polyposis colorectal cancer) patients using functional splicing assay. 8:509-17	富田 尚裕	外科 下部消化管外科
整形外科最少侵襲手術ジャーナル	鏡視下手術のための局所解剖学とportal. 皮下の作成 50:2-9	中山 寛	整形外科
脊椎脊髄ジャーナル	血液透析に伴う頸椎病変の診断と治療 22:1024-31	森山 徳秀	整形外科
Orthopaedics	ACL再再術の問題点と対策-初回手術時に膝蓋腱を使用した場合の我々の経験 22:49-54	八木 正義	整形外科
ペインクリニック	上肢 肘関節痛の治療 30:1481-91	藤岡 宏幸	整形外科
中部日本整形外科災害外科学会雑誌	馬蹄形スペーサーを用いたTLIFの手術成績 箱形と馬蹄形スペーサーの比較 52:39-40	圓尾 圭史	整形外科
中部日本整形外科災害外科学会雑誌	腰椎破壊性脊椎関節症に対しpedicle screwとhookを併用した後方固定術の中期成績 52:81-2	岡田 文明	整形外科
中部日本整形外科災害外科学会雑誌	胞巣状軟部肉腫の超音波像について 52:311-2	福永 訓	整形外科

小計
16

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
中部日本整形外科災害外科学会雑誌	Dropped head syndromeの治療経験 52:377-8	井上 真一	整形外科
膝	当科における京セラ型UKAを用いた人工膝単顆置換術の成績 33:291-6	今村 史明	整形外科
日本手の外科学会雑誌	DTJ screwを用いた指関節固定術の検討 25:663-6	奥野 宏昭	整形外科
Hip Joint	RA臼底突出を伴った寛骨臼insufficiency fracture 3例に対するKT plateを用いた臼蓋再建術 35:519-22	福西 成男	整形外科
Hip Joint	大腿骨にピンを刺入しないCT free navigation THAにおける脚長差補正の検討 35:596-8	西尾 祥史	整形外科
関節鏡	小児期大腿骨外顆離断性骨軟骨炎に対するドリリング-治癒期間予測因子の検討- 34:215-9	中山 寛	整形外科
J Orthop Traumatol	Instability of the pelvic ring and injury severity can be predictors of death in patients with pelvic ring fractures:a retrospective study. 10:79-82	橘 俊哉	整形外科
J Orthop Sci	Results of total hip arthroplasty for dialysis arthropathy in long-term hemodialysis patients. 14:285-91	福永 訓	整形外科
Facial Nerve Research	移植神経に対する端側神経縫合を用いた顔面神経再建 29:101-4	垣淵 正男	形成外科
J Infect Chemother	Clinical efficacy of oral administration of 200 mg gatifloxacin once daily for 3 days for the treatment of patients with uncomplicated cystitis. 15:104-7	山本 新吾	泌尿器科
Int Urol Nephrol	Diagnostic accuracy of a volume-rendered computed tomography movie and other computed tomography-based imaging methods in assessment of renal vascular anatomy for laparoscopic donor nephrectomy. 41:785-90	山本 新吾	泌尿器科
J Neurosurg	Serial volumetric assessment of the natural history and growth pattern of incidentally discovered meningiomas. 110:675-84	泉本 修一	脳神経外科

小計

12

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
眼科臨床紀要	甲状腺眼症の画像診断 2:33-8	木村 亜紀子	眼科
J Dermatol	Interleukin-18 prevents via PI3K/Akt pathway in normal human keratinocytes. 35:514-24	細谷 友雅	眼科
日本眼科学会雑誌	視覚障害者のための点眼薬認識装置の試作 113:5-10	岡本 紀夫	眼科
あたらしい眼科	トラニラスト微粒子懸濁液を用いた硝子体可視化 26:263-7	岡本 紀夫	眼科
神経眼科	甲状腺眼症の上眼瞼後退症に対するボツリヌス療法の治療成績 26:50-6	木村 亜紀子	眼科
眼科臨床紀要	自家調整トリアムシロン水性懸濁液中の薬物の粒子径について 2:326-30	岡本 紀夫	眼科
Biol Pharm Bull	Enhancing effects of sericin on corneal wound healing in rat debrided corneal epithelium. 32:933-6	岡本 紀夫	眼科
Jpn J Ophthalmol	Axonal regeneration induced by repetitive electrical stimulation of crushed optic nerve in adult rats. 53:257-66	田上 雄一	眼科
J Oleo Sci	Disulfiram reduces elevated blood glucose levels in Otsuka Long-Evans Tokushima fatty (OLETF) rats, a model of type 2 diabetes. 58:485-90	岡本 紀夫	眼科
Biol Pharm Bull	Enhancing effects of sericin on corneal wound healing in Otsuka long-evans Tokushima Fatty rats as a model of human type 2 diabetes. 32:1594-9	岡本 紀夫	眼科
Thromb Haemost	Expression of thrombin-activatable fibrinolysis inhibitor(TAFI) is up-regulated by increase in intracellular cyclic AMP levels in cultured HepG2 cells. 102:1204-11	池田 誠宏	眼科
Curr Eye Res	Pyroglutamic acid promotes survival of retinal ganglion cells after optic nerve injury. 34:598-605	大野 新一郎	眼科

小計

12

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Acta Otolaryngol Suppl	Taste disturbance after stapes surgery-clinical and experimental study. 71-8	阪上 雅史	耳鼻咽喉科
Auris Nusus Larynx	A case of Churg-Strauss syndrome with febractory otitis media. 36:79-81	坂 直樹	耳鼻咽喉科
Auris Nusus Larynx	Difficulty of diagnosing Wegener's granulomatosis in the head and neck region. 36:64-70	都築 健三	耳鼻咽喉科
Acta Otolaryngol	A zinc-containing compound, Polaprezinc, is effective for patients with taste disorders:randomized, double-blind, placebo-controlled, multi-center study. 129:1115-20	阪上 雅史	耳鼻咽喉科
Arch Otolaryngol Head Neck Surg	Prognostic factors for short-term outcomes after ossiculoplasty using multivariate analysis with logistic regression. 135:738-41	三代 康雄	耳鼻咽喉科
老年精神医学雑誌	味覚・嗅覚の老化 20:725-30	任 智美	耳鼻咽喉科
Eur J Cardiothorac	Analysis of collateral blood flow to the lower body during selective cerebral perfusion:is three-vessel perfusion better than two-vessel perfusion? 57:235-8	宮本 裕治	心臓血管外科
Gen Thorac Cardiovasc Surg	Risk factors for open heart surgery in hemodialysis patients. 57:235-8	山村 光弘	心臓血管外科
Jpn J Clin Oncol	A feasibility study of induction pemetrexed plus cisplatin followed by extrapleural pneumonectomy and postoperative hemithoracic radiation for malignant pleural mesothelioma. 39:186-8	田中 文啓	呼吸器外科
臨床外科	重症救急患者における早期経腸栄養法 64:1383-95	小谷 穰治	救命救急セン ター
救急医学	栄養管理のプランニングと評価 33:1751-6	小谷 穰治	救命救急セン ター
Shock	Gender difference in granulocyte dynamics and apoptosis and the role of IL-18 during endotoxin-induced systemic inflammation. 32:401-9	小谷 穰治	救命救急セン ター
Int J Oncol	Human keratinocytes derived from the bulge region of hair follicles are refractory to differentiation. 34:1191-9	小谷 穰治	救命救急セン ター

小計
13

雑 誌 名	題 名	発 表 者 氏 名	所 属 部 門
Blood	Disease-specific analyses of unrelated cord blood transplantation compared with unrelated bone marrow transplantation in adult patients with acute leukemia. 113:1631-8	甲斐 俊朗	輸血部
Biol Blood Marrow Transplant	Incidence and risk factors of early bacterial infections after unrelated cord blood transplantation. 15:439-46	甲斐 俊朗	輸血部
作業療法	新しい上肢運動機能評価法 日本語版 Motor Activity Logの信頼性と妥協性の検討 28:628-36	道免 和久	リハビリテーション部
J physiol	Human motor associative plasticity induced by paired bihemispheric stimulation. 587:4629-44	道免 和久	リハビリテーション部
臨床理学療法研究	造血幹細胞移植患者に対する無菌室内での運動療法の安全性について 26:35-8	森下 慎一郎	リハビリテーション部
理学療法学	造血幹細胞移植患者の移植前後の身体機能に関する研究～無菌室内における運送療法の有用性～ 36:120-6	森下 慎一郎	リハビリテーション部
作業療法ジャーナル	Constraint-induced movement therapy (CI療法)後の長期経過-CI療法施行後のWMFTとSTEFの結果より- 43:1433-40	竹林 崇	リハビリテーション部
J Clin Microbiol	Changes in the agr locus affect enteritis caused by methicillin-resistant Staphylococcus aureus. 47:1528-35	竹末 芳生	感染制御部
J Infect Chemother	Clinical effects of micafungin, a novel echinocandin antifungal agent, on systemic fungal infections in surgery, emergency, and intensive-care medicine: evaluation using the AKOTT algorithm. 15:219-27	竹末 芳生	感染制御部
臨床病理レビュー	医療従事職種を知る 診療放射線技師 144:27-9	小柴 賢洋	臨床検査部
Medical Technology (別冊)	新・カラーアトラス微生物検査, Haemophilus influenzae (BLNAR)による髄膜炎 100-1	和田 恭直	臨床検査部
日本臨牀	エビデンスに基づく膠原病診療のための臨床検査 67:555-9	小柴 賢洋	臨床検査部
臨床病理	自己抗体検査の全国サーベイとそれに基づく標準化の検討 57:31-41	小柴 賢洋	臨床検査部
日本医真菌学会雑誌	外科・救急領域真菌感染におけるnon- <i>abl</i> bicansの関与とその治療-外科・救急領域と血液内科を比較して 50:219-23	和田 恭直	臨床検査部

小計

14

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Ultrasound Med Biol	Definition of contrast enhancement phases of the liver using a perfluoro-based microbubble agent, perflubutane microbubbles. 35:1819-27	飯島 尋子	超音波センター
肝臓	Sonazoid 造影超音波による新しい肝癌悪性度分類法の試み 53:397-99	田中 弘教	超音波センター
肺癌	良性アスベスト関連疾患の胸部画像所見は中皮腫高罹患リスク指標か？ 49:78-82	中野 孝司	がんセンター
肺癌	切除不能例に対する臨床試験 49:397-402	福岡 和也	がんセンター
Exp Cell Res	Possible involvement of caspase-6 and -7 but not caspase-3 in the regulation of hypoxia-induced apoptosis in tube-forming endothelial cells. 315:327-35	藤盛 好啓	がんセンター
Eur J Neurosci	Isolation and characterization of neural stem progenitor cells from post-stroke cerebral cortex in mice. 29:1842-52	藤盛 好啓	がんセンター
日本ヘリコバクター学会誌	Helicobacter hepaticus 特異抗原 HH-15の解析およびそのモノクローナル抗体 HRI151とHelicobacter pylori 臨床分離株との反応性 10:67-72	福田 能啓	臨床栄養部
臨床外科	炎症性腸疾患の発癌症例PET検査 65:258-65	池内 浩基	IBDセンター

小計
8計
128

(注)1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること。(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合には、主たる発表者の氏名を記入すること。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 太城 力良
管理担当者氏名	管理課長 山口 勲、医事課長 内藤 泰 病歴課長 由良 仁、薬剤部長 木村 健

		保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		管理課 病歴室 薬剤部	病歴資料のカルテは、入院カルテは1入院1カルテ、1患者1ファイル方式、外来カルテは科別カルテ方式とし、入院は永久保管、外来は8年保管としている。 エックス線フィルムは、科別ファイル方式とし、入院、外来ともに8年間保管している。 なお、平成21年3月16日より、画像保存通信システム(PACS)が稼働している。	
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	管理課	/	
	高度の医療の実績	医事課		
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	管理課		
	高度の医療の研修の実績	管理課		
	閲覧実績			
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課		
	入院患者数、外来患者数及び調剤の数を明らかにする帳簿	管理課 薬剤部		
	一規則第一号に掲げる第一項各号及び第九条の二十三第	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	/
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	
医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況		医療安全管理部		
専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況		医療安全管理部		
専任の院内感染対策を行う者の配置状況		感染制御部		
医療に係る安全管理を行う部門の設置状況		医療安全管理部		
当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	管理課			

(様式第12)

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染対策のための指針の策定状況	感染制御部
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部 管理課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医療安全管理部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医療安全管理部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全管理部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	臨床工学室
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学室
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学室
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全管理部

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び
紹介患者に対する医療提供の実績

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院事務部長 多田 宏幸
閲覧担当者氏名	管理課長 山口 勲、医事課長 内藤 泰、 病歴課長 由良 仁
閲覧の求めに応じる場所	管理課会議室、病歴室閲覧室

○ 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

○ 紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	70.2 %	算定期間	平成21年4月1日 ~ 平成22年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	19,513人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	12,088人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	1,294人	
	D: 初診の患者の数	34,796人	

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項各号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 ・ 無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>I. はじめに ー安全と信頼の医療の提供ー</p> <p>II. 医療安全管理体制確保のための委員会の組織規約</p> <ol style="list-style-type: none">1. 医療安全管理規程2. 医療安全管理委員会規程3. 医療事故緊急対応部会内規4. 医療事故等検討部会内規5. 医療事故外部調査委員会規程 近畿地区四私立医科大学外部調査委員会申し合わせ6. 医療安全管理部運用内規7. 医療安全管理者の業務指針8. 医療安全管理者の役割と業務9. セイフティマネージャーの設置及び業務規程10. 報告書類等<ol style="list-style-type: none">① 事故等報告範囲（日本医療機能評価機構への報告）② 医療事故ならびにインシデントの影響レベル（報告時点）③ 事実関係報告書④ 診療経過報告書⑤ 医療事故報告書（日本医療機能評価機構用）⑥ 事故発生届出書⑦ セイフティマネージャー選出届⑧ セイフティマネージャー変更届⑨ 任命書⑩ 通知書⑪ 医療事故発生時の対応方法 <p>III. 当院における医療安全管理体制図</p> <ol style="list-style-type: none">1. 医療事故・インシデント発生時の体制図2. インシデントレポートの流れ3. 医療事故発生時の対応フローチャート（発見者・当事者）4. 医療事故発生時の連絡網5. 医療事故発生時の対応フローチャート（セイフティマネージャー、所属長）6. 転倒事故発生時の対応フローチャート7. 点滴・注射施行時、事故発生時の対応フローチャート8. チューブ・カテーテル類の事故・自己抜去時の対応フローチャート9. 院内救急医療体制10. 患者が死亡した場合の解剖に係る手順11. アクシデント・クレーム発生時の対応ポイント <p>IV. 医療事故を起こした職員・当該部署職員への心理的支援について</p> <p>V. 大学附属病院における医療上の事故等の公表に関する指針</p>	

② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 32 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>① 医療安全管理委員会 12回 ② セイフティマネージャー連絡会 6回 ③ 医療事故緊急対応部会 3回 ④ 医療事故等検討部会 4回 ⑤ 病院長・医療安全管理委員会コアメンバー会議 7回</p> <p>① 医療安全管理委員会の開催状況</p> <p><平成21年4月7日開催></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インシデント、アクシデント報告 ・ 医療安全管理委員会の構成員の変更 ・ 平成20年度 医療安全管理部 年間活動評価 ・ 平成21年度 医療安全管理部 年間業務計画 ・ 平成20年度 医療安全ニュースの周知結果 <p><平成21年5月21日開催></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インシデント、アクシデント報告 ・ 院外調剤薬局におけるインシデントの検討 ・ 患者が死亡した場合の解剖に係る手順の見直し ・ 中心静脈カテーテル挿入認定制度の検討 <p><平成21年6月10日開催></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インシデント、アクシデント報告 ・ 院外調剤薬局におけるインシデントの対応 ・ 患者が死亡した場合の解剖に係る手順の改訂（案） ・ 医療事故発生後の検証結果 ・ 平成20年度中心静脈カテーテル挿入に関する合併症調査結果 ・ 改訂版持参薬管理票のトライアル結果 <p><平成21年7月1日開催></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インシデント、アクシデント報告 ・ 患者が死亡した場合の解剖に係る手順の改訂 ・ 救急カート物品（トラヘルパー）の見直し ・ 医療事故発生後の検証結果 ・ 持参薬管理票の改訂 ・ アレルギー情報の共有 <p><平成21年8月5日開催></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インシデント、アクシデント報告 ・ 医療安全管理のための指針の改定（案） ・ 救急カート物品（トラヘルパー）の見直し ・ 院外処方に係る疑義照会の検討 ・ 特定機能病院医療安全連絡会報告 ・ 中心静脈穿刺部位の見直し（卒後臨床研修センター教育の検討） 	

(様式第13-2)

<平成21年9月9日開催>

- ・インシデント、アクシデント報告
- ・平成21年度 医療監視
- ・医療事故発生後の検証
- ・医薬品安全使用のための業務手順書の改訂 (案)
- ・手術・検査前中止薬のリストの作成・検討
- ・オンラインインシデント検討会の担当の見直し
- ・オーダーリング (患者プロファイル) へのアレルギー入力の見直し

<平成21年10月14日開催>

- ・インシデント、アクシデント報告
- ・平成21年度 医療監視
- ・医療事故等検討部会の開催
- ・インスリン指示票の改訂 (案)
- ・平成21年度 私立医科大学病院医療安全相互ラウンド

<平成21年11月11日開催>

医療安全管理委員・セイフティマネージャー合同会議

- ・インシデント、アクシデント報告
- ・平成21年度 医療監視
- ・平成21年度 私立医科大学病院医療安全相互ラウンド
- ・医療安全ニュースの閲覧結果
- ・医薬品安全使用のための業務確認票の提出
- ・インスリン指示票の改訂 (案)
- ・静脈血栓塞栓症 (VTE) 予防ガイドラインの見直し

<平成21年12月9日開催>

- ・インシデント、アクシデント報告
- ・平成21年度 医療監視の結果報告
- ・平成21年度 私立医科大学病院医療安全相互ラウンドの結果報告
- ・医療事故等検討部会の結果報告
- ・救急カートの検討
- ・医療事故防止スタンダードマニュアルの改訂
- ・経鼻栄養チューブ挿入マニュアルの検討
- ・静脈血栓塞栓症 (VTE) 予防ガイドラインの見直し

<平成22年1月13日開催>

- ・インシデント、アクシデント報告
- ・抗がん剤取り扱い事故防止スタンダードマニュアルの改訂
- ・エコーガイド下中心静脈穿刺の導入
- ・静脈血栓塞栓症 (VTE) 予防ワーキングの発足
- ・インスリン指示票の改訂
- ・医療事故外部調査委員会の開催

<平成22年2月10日開催>

- ・インシデント、アクシデント報告
- ・事実関係報告書、診療経過報告書の改訂
- ・ハイリスク医薬品のオーダーリング画面への表示
- ・エコーガイド下中心静脈穿刺の導入
- ・平成22年度 医療安全管理部業務計画 (案)
- ・平成22年度 医療安全管理部員・委員の構成

<平成22年3月15日開催>

医療安全管理委員・セイフティマネージャー合同会議

- ・インシデント、アクシデント報告
- ・事実関係報告書、診療経過報告書の改訂
- ・ハイリスク医薬品の表示
- ・平成22年度 医療安全管理部業務計画（案）
- ・医療安全ニュースの閲覧結果
- ・セイフティマネージャーの変更
- ・インシデントレポートのチェック

② セーフティマネージャー連絡会の開催状況

<平成21年4月22日開催>

- ・インシデント・アクシデント報告
- ・医療安全管理委員会の構成員の変更
- ・平成20年度 医療安全管理部 年間活動評価
- ・平成21年度 医療安全管理課 年間業務計画
- ・平成20年度 医療安全ニュースの周知結果
- ・持参薬管理票の見直し（案）
- ・オンラインインシデント検討会の担当

<平成21年6月23日開催>

- ・インシデント・アクシデント報告
- ・院外調剤薬局におけるインシデント報告
- ・平成20年度 中心静脈カテーテル挿入に関する合併症調査結果
- ・平成21年度 医療安全強化月間の取り組み
- ・持参薬管理票のトライアル結果

<平成21年9月30日開催>

- ・インシデント・アクシデント報告
- ・医療事故発生後の検証
- ・医療安全管理のための業務手順書の改訂（案）
- ・救急カート物品（トラヘルパー）の見直し
- ・手術・検査前中止薬のリストの作成・検討
- ・持参薬管理票の運用
- ・医療安全強化月間の取り組み結果
- ・医療安全ニュースの閲覧結果
- ・オンラインインシデント検討会の担当の見直し
- ・平成21年度 医療監視

<平成21年11月11日開催>

医療安全管理委員・セイフティマネージャー合同会議

- ・インシデント、アクシデント報告
- ・平成21年度 医療監視
- ・平成21年度 私立医科大学病院医療安全相互ラウンド
- ・医療安全ニュースの閲覧結果
- ・医薬品安全使用のための業務確認票の提出
- ・インスリン指示票の改訂（案）

<平成22年1月27日開催>

- ・インシデント、アクシデント報告
- ・平成21年度 医療監視の結果報告
- ・平成21年度 私立医科大学病院医療安全相互ラウンドの結果報告
- ・医療事故防止スタンダードマニュアルの改訂
- ・エコーガイド下中心静脈穿刺の導入
- ・医療講演会

<平成22年3月15日開催>

医療安全管理委員・セイフティマネージャー合同会議

- ・インシデント、アクシデント報告
- ・事実関係報告書、診療経過報告書の改訂
- ・ハイリスク医薬品の表示
- ・平成22年度 医療安全管理部業務計画（案）
- ・医療安全ニュースの閲覧結果
- ・セイフティマネージャーの変更
- ・インシデントレポートのチェック

③ 医療事故緊急対応部会の開催状況

<平成21年10月2日、11月11日、平成22年3月12日>

- ・医療事故への対応の検討

④ 医療事故等検討部会の開催状況

<平成21年10月5日、10月14日、10月20日、10月26日>

- ・医療事故への調査・原因分析・再発防止策の検討

⑤ 病院長・医療安全管理委員会コアメンバー会議の開催状況

<平成21年6月12日、6月19日、7月15日、8月20日、10月2日、
平成22年3月24日>

- ・医療事故への対応の検討

③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 35 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成21年6月2日 (火) <ul style="list-style-type: none"> テーマ 「異常死の届出」 講師 兵庫医科大学 法医学 主任教授 西尾 元 ビデオ補講4日間計7回 (平成21年6月8日・9日・10日・12日) ・ 平成21年6月26日 (金) <ul style="list-style-type: none"> テーマ 「言葉によるコミュニケーション」 講師 日本医療事務センター 接遇インストラクター 一橋 真穂子 ・ 平成21年9月24日 (木)・29日 (火)、10月5日 (月) <ul style="list-style-type: none"> テーマ 「薬剤投与における医療安全」 講師 兵庫医科大学病院 薬剤部 部長 門林 宗男 ビデオ補講3日間計6回 (平成21年10月6日・8日・9日) ・ 平成21年12月12日 (金)、平成22年2月12日 (金) <ul style="list-style-type: none"> テーマ 「エコーガイド下中心静脈穿刺」 講師 川鉄千葉病院 麻酔科部長 徳嶺 護芳 ・ 平成22年2月23日 (火)・24日 (水)・25日 (木) <ul style="list-style-type: none"> テーマ 「深部静脈血栓・肺血栓塞栓症の予防」 講師 日本シャーウッド株式会社 高垣 聖子 ・ 平成22年2月26日 (金) <ul style="list-style-type: none"> テーマ 「病院への5S活動の導入」 講師 テルモ株式会社 5S・TPM推進委員 ・ 平成22年3月20日 (土) <ul style="list-style-type: none"> テーマ 「医療安全管理委員会からの現状報告と今後の対策」 講師 兵庫医科大学病院 医療安全管理委員会 専従セイフティマネージャー 宮崎 美貴子 <p>ICLS実習 (卒後臨床研修センターコース)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成21年 9月21日 (月) 受講者17名 ・ 平成21年10月 3日 (土) 受講者18名 ・ 平成21年11月 3日 (火) 受講者18名 ・ 平成21年12月20日 (日) 受講者18名 ・ 平成22年 1月17日 (日) 受講者18名 <p>BLS講習会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成21年4月2日 (木)・3日 (金) <ul style="list-style-type: none"> 平成21年度採用臨床研修医対象 61名 ・ 平成21年6月16日 (火)・18日 (木) <ul style="list-style-type: none"> 平成21年度新規採用看護師対象 112名 ・ 平成21年6月11日 (火) <ul style="list-style-type: none"> 平成21年度中途採用看護師対象 21名 	

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況

・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有) ・ 無)

・ その他の改善のための方策の主な内容：

- ① 発生したインシデントに対して、統括・専従セイフティマネージャーが発生部門セイフティマネージャーとともに、内容分析、改善策の検討並びに患者への対応の指示を行っている。また、医療安全管理委員会委員及びセイフティマネージャーから構成される「オンラインインシデント検討会」を毎週開催し、各部門に改善策の助言・提案を行うことにしている。なお、必要に応じて「医療事故等検討部会」を開催し、医療事故等の原因を分析し、改善策の検討を行っている。
- ② 報告のあった医療事故に対し、医療安全管理委員会等で原因を分析し、対応・改善策の検討を行っている。また、事故発生1ヶ月後・3ヶ月後（必要時6ヶ月後）に統括・専従セイフティマネージャーと当該部署のセイフティマネージャーで、改善策の実施状況を検証し、医療安全管理委員会に報告している。
- ③ 発生したインシデント・アクシデント内容からテーマを設定し、看護部事故防止委員会・各部署のセイフティマネージャーと協働して、院内監査ラウンドなどを実施している。
- ④ 医療安全強化月間にテーマに決め、各部署の安全への取り組みを支援している。
- ⑤ 事故後の改善策や医療安全情報が全部署のスタッフに周知できているかを検証する目的で、年1回、医療安全管理委員・セイフティマネージャーが多職種でチームを組み、全部署の相互ラウンドを行っている。
- ⑥ 医療安全ニュースを月2回発行し、当院のインシデント・アクシデント情報・再発防止策・事故後の検証結果、他施設の事件事例、医療安全情報（厚生労働省・学会・PMDA等）などを掲載し、職員に周知している。
- ⑦ 職種別研修でも当院で発生したインシデント・アクシデントを教材にし、事故分析（RCA）やKYT訓練を行っている。

<具体的方策>

1) VTE予防ワーキング

- ① VTE予防ガイドライン・VTEリスク評価票の改訂
- ② 患者・家族説明用紙（パンフレット）の作成

2) エコーガイド下中心静脈穿刺の導入（継続中）

- ① エコーガイド下中心静脈穿刺のインストラクター育成
- ② CVカテーテル挿入に関する調査票の改訂
- ③ 平成21年4月～平成22年3月中心静脈カテーテル挿入時の合併症発生に関する調査続行

(様式第13-2)

- 3) 医療事故防止スタンダードマニュアル改訂
- 4) 医療安全全国共同行動への参加
危険薬の誤投与防止、医療機器の安全な操作と管理の2項目に参加
患者誤認事故防止のポスター掲示
- 5) 医療安全強化月間 5S活動「整理・整頓・清潔・清掃・躰」への取り組み
「整えよう療養環境！作りあげよう作業環境！」
 - ①療養環境を整備し、転倒・転落等の事故を予防する
 - ②作業環境を整備し、手順のミスを防ぐ
 - ③医療機器等の特性をよく理解し、安全に使用する。
- 6) 調剤システム更新に伴う処方箋・薬袋印字の改善
- 7) インシデント・アクシデントへの対応
 - ①院外調剤薬局との連携（インシデント報告システムの構築）
 - ②患者が死亡した場合の解剖に関わる手順の変更
 - ③持参薬管理票の改訂
 - ④術前・検査前に休薬を要する薬剤一覧表の作成
 - ⑤救急カート薬剤・物品に見直し
 - ⑥中央手術部タイムアウトの導入
 - ⑦術前指示票の改訂
 - ⑧インスリン指示票の改訂
 - ⑨ハイリスク薬品の表示 など

(様式第13-2)

⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (2 名) ・ 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (2 名) ・ 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 ・ 無
<p>・ 所属職員: 専任(4)名 兼任(7)名</p> <p>・ 活動の主な内容:</p> <ul style="list-style-type: none">① 安全管理体制の構築: 委員会の運営、指針・マニュアルの改訂など② 医療事故を防止するための情報収集、分析、改善策の立案、フィードバック、評価③ 改善策実施のための各部門への依頼、調整、助言④ 安全管理対策の実施状況の調査、分析⑤ セイフティマネージャーの活動支援⑥ 医療安全に関する職員への教育・研修の実施⑦ 医療事故への対応: 届出・公表を含む事故発生後の対応、事故の要因分析、再発防止策の検討及び立案、再発防止策の実施検証及び指導	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に対応される体制の確保状況	有 ・ 無

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有 ・ 無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>① 感染管理体制（感染管理機構、専任感染管理担当者の役割について、感染制御部へのコンサルテーション）</p> <p>② 感染症発生時の報告と解除（院内で取り決めている報告すべき感染症の発生時の報告（緊急連絡を要する微生物検査時含む）、感染症法に基づく届出及び院内の感染症報告書が必要な疾患、感染解除報告）</p> <p>③ 病院感染管理上重要な病原体・感染症に対する感染制御部の対応</p> <p>④ アウトブレイク発生時の対応</p>	
② 院内感染のための委員会の開催状況	年 12 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>病院感染対策に関する事項を調査・審議し、院内感染症発生時の原因の分析、改善策の立案、実践、周知等感染管理を推進している。なお、必要があるときには臨時で開催する。</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 27 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>病院感染制御に対する基本的な考え方及び具体的施策の周知、業務を遂行するうえでの知識・技能の向上及び病院感染制御に対する意識の高揚を目的として、教育・研修を実施している。</p> <p>① 病院感染制御をテーマとする講演会を開催（全職員対象と臨床研修医対象）</p> <p>② 看護師ラダーレベル別研修、リンクナースを対象とした感染制御に関する研修を実施</p> <p>③ 清掃職員（委託業者）を対象とした病院感染制御の基本について研修を実施</p> <p>④ 院内感染の増加が疑わしい場合、または確認された場合は、施設全体または部署や職種を限定して院内感染対策に関する教育・指導を実施</p> <p>⑤ 手洗い実技指導（各部署）</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 （有 ・ 無）</p> <p>感染症発生時は「院内で取り決めている報告すべき感染症の発生時の流れ」に沿って感染症報告書により報告を行う。（緊急連絡を要する場合は先に電話で連絡）感染症が改善した場合は「感染解除報告」に沿って感染症解除報告書を提出する。</p> <p>報告すべき感染症は、感染症新法、結核予防法、食品衛生法にもとづく疾患および院内感染管理上、迅速に対策を行う必要があるものとする。</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>感染症発生にかかる報告、連絡があった事例は、「感染症または病原体の検出種類によるレベル分類」に基づき感染制御部が対応し、必要があれば感染対策委員会で審議し対策を講ずる。</p> <p>また、アウトブレイクを疑う事例が発生した場合、「アウトブレイク発生時の対応」に基づき対応し、アウトブレイクの可能性が高いと判断した場合、感染制御部は感染対策委員会委員長に報告し、臨時の委員会を開催し対策を協議する。</p> <p>患者個々の抗菌薬治療に関して、主治医からのコンサルテーションにより感染制御部と協議する。</p> <p>抗緑膿菌活性を有するカルバペネム系、ニューキノロン系、第4世代セファム、βラクタマーゼ阻害剤配合ペニシリン、その他の各抗菌薬の使用量をAUDで調査し、使用割合を各10～20%でコントロールし、抗菌薬の適正使用を推進する。</p>	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有 ・ 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 10 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> (臨床研修医オリエンテーション) <平成21年4月5日(月)> ・ 医薬品の適正使用と医薬品の安全使用のための業務手順について説明 (病院全職員対象講演会) <ul style="list-style-type: none"> <平成21年9月24日(木)・29日(火)、10月5日(月)> テーマ 「薬剤投与における医療安全」 講師 兵庫医科大学病院 薬剤部 部長 門林 宗男 ビデオ補講3日間計6回 	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 手順書の作成 (有 ・ 無) ・ 業務の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1. 病院で用いる医薬品の採用・購入などに関する事項 <ul style="list-style-type: none"> 採用医薬品の選定と見直し 採用医薬品の安全性・取り間違い防止に関する検討 採用医薬品情報の作成・提供 医薬品の発注 医薬品の入庫管理と伝票管理 2. 医薬品の管理に関する事項 <ul style="list-style-type: none"> 医薬品棚の配置と医薬品の充填 規制医薬品(麻薬、覚せい剤原料、向精神薬(第1種、第2種)、毒薬) 病棟・各部門への医薬品の供給 病棟等の配置医薬品の管理 医薬品の品質管理 処置薬の管理 救急カートの医薬品管理 輸血用血液製剤の保管・管理 放射性医薬品・危険物の管理 3. 患者に対する医薬品の投薬指示から調剤に関する事項 <ul style="list-style-type: none"> 患者情報の内容および収集・管理、活用について 入院時の使用医薬品の確認 医薬品の使用に関する指示出しと指示受け 処方せんの取り扱い 特に安全管理が必要な医薬品の処方 病棟における処方変更時の対応 処方せんの点検 調剤 院外処方せんの取り扱い 	

4. 患者に対する与薬や服薬指導に関する事項
投与
服薬指導
投与後の経過観察
医薬品使用による患者容態急変時の応援体制
副作用発現時の対応

5. 医薬品の安全使用に係る情報の取扱いに関する事項
医薬品情報の収集・管理
医薬品情報の提供
各部門、各職種等からの問い合わせに対する体制整備
患者への薬剤情報提供及び問い合わせに対する対応

6. 他施設との連携に関する事項
他施設からの問い合わせ等に関する体制整備
院外処方せんの発行に関する事項
緊急連絡のための体制整備

④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)
 - 病棟担当薬剤師から副作用情報の収集
 - プレアボイド報告の収集
 - 医療安全全国共同行動への参加 (危険薬の誤投与防止)
 - 調剤システム更新に伴う処方箋・薬袋印字の改善への取り組み
 - 持参薬管理票の改訂
 - 術前・検査前に休薬を要する薬剤一覧表の作成
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：
 - 定期的な医薬品の整理 (平成21年10月に183品目の削除)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有 ・ 無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 74 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>以下の機器の取り扱い方法・安全対策について研修を行った</p> <p>人工呼吸器・血液浄化装置・除細動器・補助循環装置・保育器・輸液ポンプ・医療ガス・放射線機器 等</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 計画の作成 (有 ・ 無)</p> <p>・ 保守点検の主な内容：</p> <p>以下の装置に対しては定期点検を実施している</p> <p>人工呼吸器・血液透析装置・血液浄化装置・補助循環装置・保育器・麻酔器・体外式ペースメーカー・輸液ポンプ・シリンジポンプ・経腸栄養ポンプ・除細動器・電気メス</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有 ・ 無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>心電図モニタの操作手順の見直し 心電図モニタ患者間違いに対する注意喚起 電気メス熱傷事故に対する注意喚起</p>	